

スマトラ沖地震で被災

「子どもに本を」と募金

ジャスコ岡山店

インドネシア・スマトラ島沖大地震(04年12月)で被災した同島バンダアチェの子どもたちに絵本や書籍を贈ろうと、岡山市青江2のジャスコ岡山店で募金活動が始まった。20日まで。寄金は地震発生直後から医療支援や物資配布をしている国際医療援助団体「AMD A」(本部・岡山市櫛津)に寄贈される。

同店は76年の営業開始以来、毎年この時期に開店記念祭を実施。98年の改装をきっかけに「地域に貢献できれば」とAMD Aを通じた支援活動を始めた。募金箱は1階食品売り場のレジ近くなどに置かれ、同階の軽食コーナーの一面にはバンダ

アチェの子どもたちの写真を展示している(5日まで)。

初日の10月27日にはチャリティーバザーも開催。40分ほどで完売し、約25万円の収益を上げた。3日午前11時〜午後1時には餅つきがあり、つきたてを1パック300円で販売する。これらの収益も寄付される。

遠藤浩副店長は「親や兄弟を失った子どもは今もトラウマを抱えている。笑顔を取り戻すためにも温かいご支援をお願いします」と呼び掛けている。営業時間は午前9時〜午後11時。無休。問い合わせは同店(086・226・2001)。

【石川勝義】



展示された写真に見入る家族連れ